

名古屋大学グローバルネットワーク
国際交流グループ
2020 年度活動報告書



名古屋大学グローバルネットワーク

2020 年度活動報告書

1. 名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）紹介
2. スモールワールド・コーヒアワー活動報告
3. プレゼンテーションアワー活動報告
4. ヘルプデスク活動報告
5. 留学のとびら活動報告
6. 異文化交流サークル ACE 活動報告
7. NUFSA 名古屋大学留学生会 活動報告



名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）

名古屋大学ではキャンパスの国際交流を活発にするために
学生が主体となって様々な交流活動をしています。
そんな活動を一緒にサポートしてくれる仲間を募集しています。
学生の皆さんの参加をお待ちしています！

スモールワールド・コーヒーアワー（Small World Coffee Hour）

コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と一般学生が出会い、文化や学生生活に関することなどを気軽に話し合える国際交流の場を毎月（学期中）に開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中です！

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp

Website: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

Facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～（Presentation Hour）

国際色豊かなプレゼンテーションを通して、アカデミックな交流の場を年に1～2回開催しています。プレゼンテーションの内容は、研究、専門、趣味、異文化・留学体験、マイブームなど多岐に渡ります。プレゼンター、または運営スタッフとして一緒に活動してくれる仲間を募集中です！

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp

Website: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

Facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

ヘルプデスク（Help Desk）

ヘルプデスクは、留学生を支援する国際交流団体です。留学生と交流を深めることを目的としたハロウィンパーティーや花火大会などを開催しています。それだけではなく、留学生と話したり、一緒に勉強したりと普段から楽しく活動しています。また、生活に必要な情報を提供し、日常生活や勉強などの質問や相談にも対応しています。私たちと一緒に活動してくれる学生を募集中です！

Email: nagoyaunivhelpdesk@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/NuHelpdesk/>

留学のとびら (Gateway to Overseas Studies)

留学経験者が集まり、留学を目指す名大生をサポートしています。2019 年度は留学写真展、留学計画ワークショップ、毎週昼休みの相談会、交換留学前の書類・面接対策などを行いました。SNS を通じた情報・インタビュー発信や留学仲間のコミュニティづくり、また個別相談も行っていますので、留学に関心がある人もそうでない人もぜひチェックしてみてください。

Email: nu.ryu.tobi@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/ryugakunotobira/>

異文化交流サークル ACE (Action Group for Cross-Cultural Exchange)

ACE では、「交流・架け橋・ボランティア」の三大理念を掲げ、活動を行っています。毎年 4 月、10 月頃に名古屋大学に来る留学生に対し、入寮のサポートやウェルカムパーティー等を開催したり、他にも 1 年を通じて留学生と一般学生との交流を図るイベントを行ったりすることで、留学生が日本での生活を楽しめるよう少しでも力になりたいと考えています。いつでも誰でもお気軽に参加してください！

URL: <http://ace.tuzikaze.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/Events-of-ACE-293892397287990/>

NUFSA 名古屋大学留学生会

(Nagoya University Foreign Students Association)

名古屋大学の留学生や一般学生など多様なメンバーで構成されている留学生会です。名古屋大学で学ぶ留学生が楽しく留学生活を送れるようサポートしたり、国際交流イベントを開催しています。参加お待ちしております！

Email: nufsa.nagoya@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>

スモールワールドコーヒーアワー Small World Coffee Hour

2020 年度 活動報告

総合文責：吉岡優樹

1. 団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」（以下、コーヒーアワー）を企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い繋がることのできる場を提供することを目的として、2005 年後半に発足した。以降、イベント内容に工夫を凝らし、組織運営を円滑化することで、10 年以上継続するに至っている。

1.1 理念

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した、誰もが楽しめるイベントを行えるよう心掛けている。

1.2 特徴

- ・有志の学生が中心となって活動している。（学部・学年・国籍は問わない）
- ・誰でも参加できるオープンなイベントを月に 1 度のペースで開催できるよう企画・運営をしている。
- ・イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマやアクティビティを実施している。



Small world
Coffee Hour
スモールワールド コーヒーアワー

Let's play introduction activity and build your network on campus!
All are welcome! Come join and have a nice time together ♪

自己紹介をしながら国際交流してみませんか？コーヒーアワーでは、コーヒーやお茶を片手に、のんびりした雰囲気での国際交流を楽しめます！

Past Events
過去のイベント

Next Event
Detail will be informed soon!
詳細はこちらから

Instagram Facebook

主催：国際教育交流センターアドバイジング部門&Small World Coffee Hour Team
問い合わせ先：国際教育交流センターアドバイジング部門 Advising & Counseling Services
Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp
Web page: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

2. 活動紹介

2.1 活動について

2.1.1 ミーティング

週に 1 度の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加できなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

2.1.2 広報活動

各イベントのポスターを作成し、学内に掲示する。コーヒアワーの Facebook、Instagram ページにポスターを投稿する。また、海外留学室等のメールで広報していただく。今年度はコラボレーションした他の国際交流団体の SNS 等でも広報してもらった。SNS における広報活動が中心であった。

2.2 コーヒアワーについて

2.2.1 当日の動き（目安）

例年

- 15:00 国際棟給湯室にてコーヒーを準備/会場で企画書に沿って設営開始
- 16:15 受付開始
- 16:30 イベント開始
- 18:00 イベント終了、片付け
- 18:30 振り返りミーティング

今年度 オンライン開催

- 11:20 スタッフが web ミーティング上で集まる
- 11:50 参加者の入場を許可する
- 12:05 イベント開始
- 12:55 イベント終了

2.2.2 今年度の工夫点

今年度は 6・7・11・12 月の開催となった。感染症感染拡大によって海外との往来、学生の登校が制限される状況下で、対面でのイベントができず、今年度は全てウェブミーティングツールを用いたオンラインイベントとなった。広報活動やイベント内容など手探りの状態であったが、画面を共有できることや、海外からも参加できるという利点があった。留学生と国内学生の交流が難しい状況において交流の場を提供することができ、来日できない留学生や、登校できない新一年生にも参加してもらうことができた。また、国際交流団体とコラボレーションしてイベントを開催した。

3. 年間行事記録

【6月 みんなではなそう】

日時：2020年6月10日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK

参加人数：約20人

イベント概要：

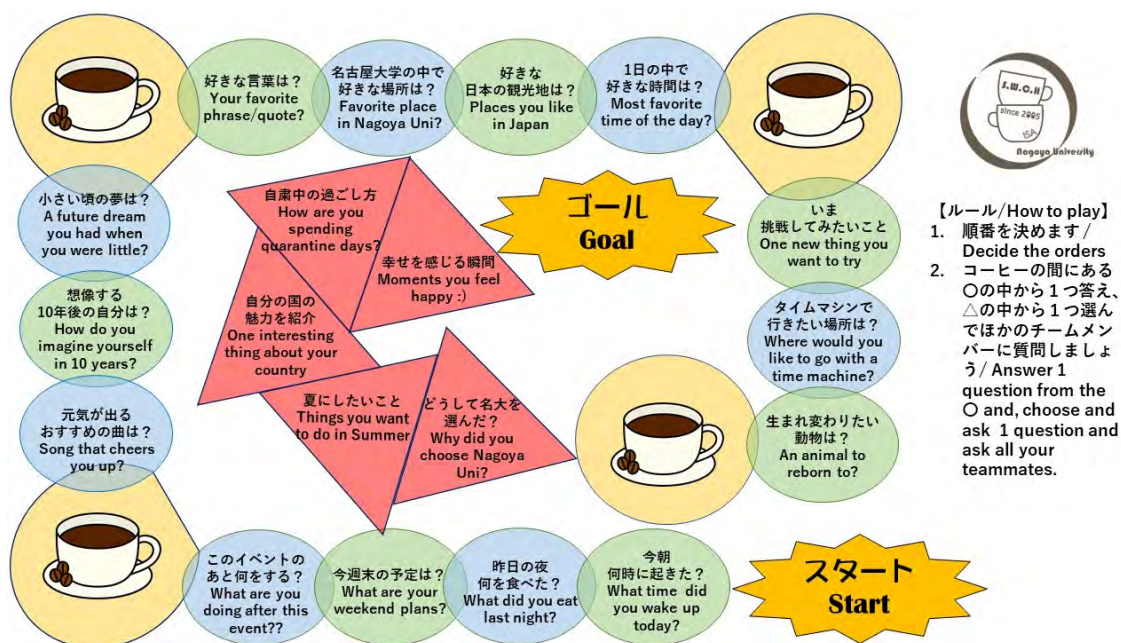
オンラインで実施した。ブレイクアウトルームにわかれ、自己紹介後に、すごろくシートの質問に順番に答えていく。質問は、「好きな言葉」「今挑戦してみたいこと」など。メンバーをかえて二回行い、一回目は言語希望にわかれて、二回目は日英ミックスで行った。

実施した感想：

すごろくの内容が良く、とても盛り上がった。とくに後半は盛り上がり、すごろくが終わらないこともあった。初めてのオンライン開催だったが、大きなトラブルなく実施することができた。

気づいたこと(改善点など)：

1,2年生の学生にもっと話してもらえるように工夫する必要があると感じた。英語で行ったところ、会話に入ってこられない人がいた。グループを変えて行う二回目で、すごろくシートバージョン2を用意することができればさらに良い。



【7月 オンライン写真展】

日時：2020年7月13日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK、COFSA

参加人数：約20人

イベント概要：

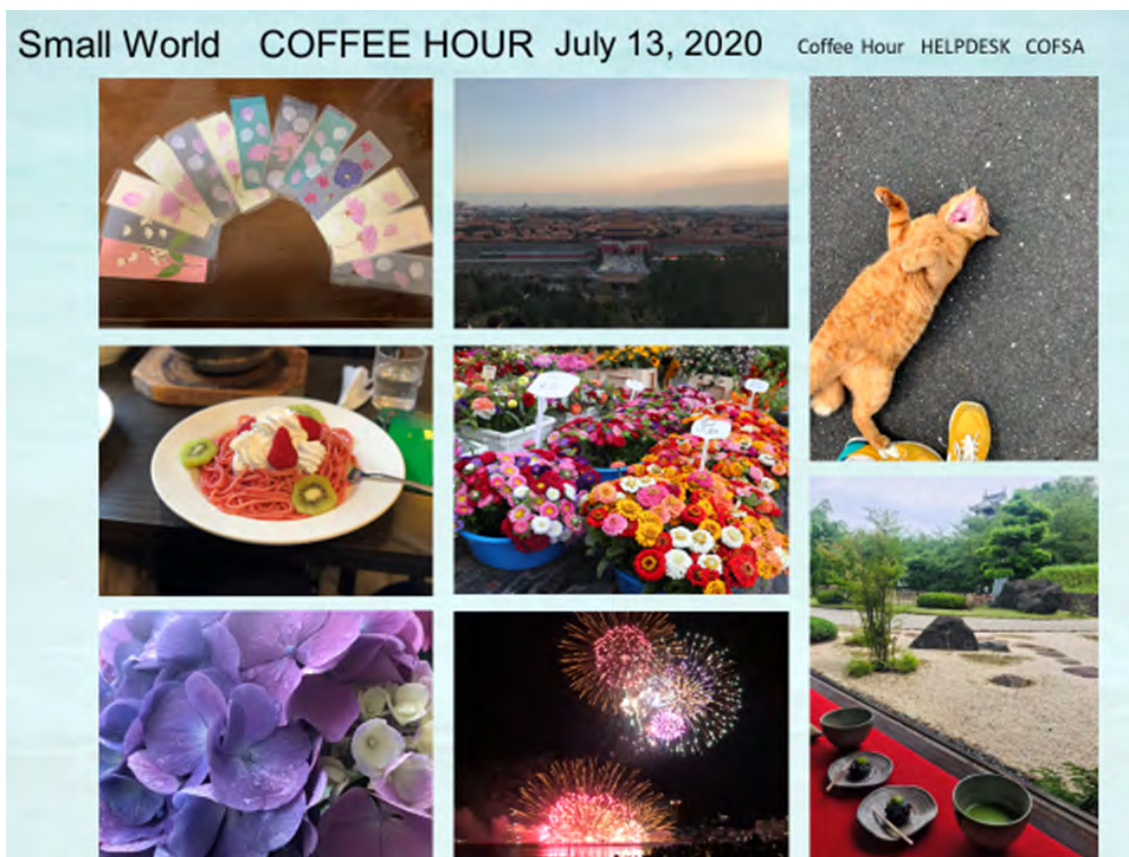
オンラインで実施した。登録後、イベント開催前に数枚の写真を google form で送ってもらう。ブレイクアウトルームにわかれ、自己紹介後に、写真を画面で共有しながら、思い出等を話す。2ラウンド行った。

実施した感想：

すてきな写真とエピソードで楽しめた。おすすめの場所、自慢のペットなどの話で参加者と盛り上がる事ができた。

気づいたこと(改善点など)：

写真を準備してもらう企画だったので申込みにハードルがあるかもしれないと感じた。もう少し気軽に参加してもらえる方法を考えたい。



【11 月 ゲームイベント】

日時：2020 年 11 月 11 日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK、COFSA

参加人数：約 20 人（うちファシリテーター 7 名）

イベント概要：

オンラインで実施した。ブレイクアウトルームにわかれ、ジェスチャーゲームとワードウルフを行った。

実施した感想：

1. ジェスチャーゲーム

ファシリテーターが初めに例を示し、その後は zoom の参加者リストで順番にジェスチャーをしてもらった。ルールは皆事前に理解していたようで、スムーズに進行した。10 分間であったが、5 人グループで一周と少し行うことができた。皆おもしろい（少し難しい）トピックのジェスチャーをしており、盛り上がった。e.g.) Tiktok を撮影する人、マニユアル車を運転する人、スパゲティを食べる人

2 ワードウルフ

こちらはゲームのルールについて初めに質問がいくつか出たが、その後しっかり理解してもらうことができスムーズに進行した。ファシリテーターがトピックを個人チャットで送信し、参加者に議論をしてもらった。初めは皆探りながらのプレーだったが、徐々に大胆な立ち回りを見せる参加者も出てきて、結果発表の際には大いに盛り上がった。

気づいたこと(改善点など)：

ワードウルフでの使用言語について、あるグループでは皆に希望を聞き、主に英語で行ったが、ゲームが複雑で駆け引きを含むため、全て英語で行うとなかなかハイレベルに感じた。途中で実際に少し行ったが、皆で通訳しながら、日英ミックスでやる方法も良いかもしれない。

【12 月 オンライン写真展 2】

日時：2020 年 12 月 23 日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK、COFSA

参加人数：約 15 人（うちファシリテーター 6 名）

イベント概要：

7月と同様に、写真共有イベントをオンラインで行った。テーマを「ふるさとやふるさとのように感じる場所」とした。登録後、イベント開催前に数枚の写真を google form で送ってもらう。当日ブレイクアウトルームにわかれ、自己紹介後に、写真を画面で共有しながら、思い出等を話す。2 ラウンド行った。

実施した感想：

私が参加したブレイクアウトルーム2つでは、スムーズに写真を共有することができていた。写真について互いに感想を述べたり、質問をしたりして活発に会話をすることができた。

気づいたこと(改善点など)：

時間配分が上手くいかないことがあった。活発に話をしているとなかなか次の人に進めることができず、写真を見せる時間が短くなってしまう人がいた。

4. メンバー紹介

石川仁貴 工学部機械航空宇宙工学科 4年
院試と卒業論文に追われていた一年でした。

梅本涼 工学部機械航空宇宙工学科 4年
今年はイベント自体にはなかなか参加することができませんでしたが、来年度も新型コロナに負けず、コーヒアワーがよりよいものになっていけばいいと思います。

長田恵梨菜 法学部 4年
従来通りの活動ができなくなり、新しい挑戦だらけの一年でしたが、従来のような皆さんにとっての出会いの場、いこいの場となれていたら幸いです。これからも、コーヒアワーが皆さんの居場所であり続けてくれると信じています。

木村海里 経済学部経済学科 4年
今年は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となりましたが、オンラインならではの企画を立案するなど、苦境を楽しいものに転換できました。今後も、みんなが楽しめるイベントを催して、さらに盛り上げていってほしいと思います。

崎啓人 工学部マテリアル工学科 4年
今年度は対面でのイベントは開催できませんでしたが、インターネット環境を駆使してオンラインにて活発な交流ができました。僕は残念ながらイベントに参加することはできま

せんでしたが、オンラインだからこそ実現した企画もあり、とても楽しく有意義な活動だったと思います。

福島優理亜 理学部生命理学科 3年

大学内で国際交流ができる素敵な場です。自然な英語をたくさん浴び、そして話すことができる機会は本当に貴重だと思います。コロナウイルスの状況も見つつ、来年度はさらに活発に活動できることを願っています。

吉岡優樹 環境学研究科都市環境学専攻 修士1年

コーヒアワーでは、スタッフ、参加者として多様な人と関わるができることに魅力を感じています。現在海外との往来が難しくなっていますが、これからも工夫しながら国際交流の機会をつくり、私も参加できれば良いなと思います。

プレゼンテーションアワー 2020 年度 活動報告書

1. Introduction

Presentation Hour is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, which anybody can share anything from their hobby to possession. The specialty of this event is that the presentations made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is opened to all Nagoya University members free of charge, and many people from different faculties, nationalities, perspectives, and values can join and listen to the presentation. We aim to create a relaxed atmosphere throughout the event by preparing coffee and snacks. *Presentation Hour* first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, and ever then, it became an independent group and is held regularly. We aim to hold an event every semester, twice a year. Our belief is to create a platform for students, not only for regular students but also for international students who have different backgrounds or studies, to share their ideas and feelings. Therefore, *Presentation Hour* is held in both Japanese and English. Year by year, the scale of the event has been increasing through our effort of searching for speakers, improving the event with creativity, and organizing the event more smoothly. This year, we had two major changes in our activity. Firstly, due to COVID-19, all our events and preparations were switched to online. We were physically separated but, by using zoom, we were able to stay connected virtually, and quickly adapted to the situation. By holding our events online, we were able to gain more participants starring alumni and students who are living overseas or other areas in Japan. Despite the concerns of using online platforms, we were able to seek potentials in them. Secondly, this year, we collaborated with Nagoya University International Students Association, NUFSA. NUFSA staffs put in efforts by giving us new ideas and some of the members also gave a presentation. It was a great pleasure working with them. Our next goal is to continue recruit organizers and holding the event. Depending on the situation, we hope to hold our events again in face-to-face, but also use online technology and adjust to the new-normal lifestyle of post-COVID.

2. 団体紹介

文責：鈴木有咲

Presentation Hour (以下プレゼンアワーと略)は、「*Small World Coffee Hour*」(以下コーヒーアワーと略)の特別企画として 2014 年に発足し、以来、年に 2 回、各学期に 1 回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20 枚のスライド、それぞれが 20 秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

発足以来、プレゼンターの募集やイベントの運営の工夫、マニュアルを作成して組織運営を円滑化することで、年々プレゼンターの参加者募集も増大し、規模が大きくなっ

ている。2020 年度は、コロナウイルスの影響からオンラインにてイベント開催を行った。また NUFSA と連携することで、より幅広い層の学生にも参加してもらうことができた。春学期のプレゼンアワーは、例年 1 回であるところ、6 月と 7 月の計 2 回開催した。オンラインは対面方式と比べ、長時間視聴によって参加者が疲労を感じやすいため、開催時間の短縮を意図し 2 回のイベントに分割した形だ。秋学期のプレゼンアワーでは、プレゼンアワーOB の方にも登壇して頂いた。オンライン開催は、世界各地からの参加を可能とするため、コロナウイルス後も、対面との同時進行をする等、オンラインを取り入れていくことを前向きに検討している。

2-1. 理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方をすることで、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

2-2. 特徴

- 有志の学生が中心となって活動を行っている（学部・学年・国籍は問わない）。
- 誰でも参加できるようなオープンなイベントを 1 学期に 1 回開催できるように企画・運営を行っている。
- プレゼンターには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮（言語、文化、専門知識）をしていただくことを心掛けている。

3. 活動紹介

3-1. 活動について

文責：若杉美穂

●ミーティング

週に 1 度（毎月 3～4 回）の頻度でお昼休みに ZOOM を使用しオンラインミーティングを行い、2 ヶ月弱の準備で 1 回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターのとの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、担当役割決めなど行っている。

●広報活動

本年度はオンラインでの開催、かつ登校する学生が少なかったことから SNS やメールでの周知に力を入れた。具体的には留学生相談室や各学部、ならびに G30 の先生方に広報を依頼し、イベント告知のメールを流した。Facebook ではイベント前約 1 ヶ月間をかけ、プレゼンテーションの内容やプレゼンターの紹介などを行うことでイベント周知を図っている。

●NUFSA 連携

本年度のプレゼンテーションアワーは名古屋大学留学生会（NUFSA）と共同で開催をした。NUFSA と連携することで、留学生への周知がさらに強力になり、日本語基準・英語基準で学ぶ学生が会える機会となったと考えている。

3-2. 2020 年度の活動内容

【6 月・7 月 2020 年度春学期プレゼンテーションアワー】

文責：佐々木あみ

今期は、コロナ禍の影響があり、例年とは形を変え、オンラインでイベントを行う初の試みとなった。対面方式に比べ、オンラインでは長時間のイベントにすると参加者が

疲れてしまうことを考慮し、1回のプレゼンターを少なくする関係で、イベントを2回に分けて行うこととなった。

①春学期 第1回プレゼンテーションアワー 「Presentation Hour 2.0」

日時・場所： 6月24日（水）17:00-18:00

参加人数：約15人

（オンライン開催のため、途中入退出分を記録することができなかった）

当日の流れ：

17:00 イベント開始
 17:05-17:15 アイスブレイク
 17:15-17:35 プレゼンテーション1
 17:35-17:55 プレゼンテーション2
 17:55- クロージング

●イベント概要

2020年度はNUFSAと提携してイベント運営を行ったため、NUFSAから3名の学生が協力してくれた。初のオンライン開催ということもあり、様子見を兼ねて、プレゼンターは運営メンバー1人と、NUFSAメンバー1人が担った。どちらも英語での発表ではあったが、日本語での要約や通訳を通して、日英どちらの話者も参加できる形になった。

また、参加者が緊張感なくイベントを楽しめるよう、会の最初にはミニクイズを行った。

●実施した感想

初のオンライン開催ではあったが、通信の問題などはあまり発生せず、スムーズに進行することができた。また、参加者からの質問も、ZOOMのチャットに書いてもらう形で募集をしたところ、途切れることなく多くの質問があり、活発な会となった。また、今回の司会はNUFSAメンバーが英語で、プレゼンテーションアワーメンバーが日本語で行ったので、日英どちらでも分かりやすいものになるとともに、とても明るい雰囲気になった。

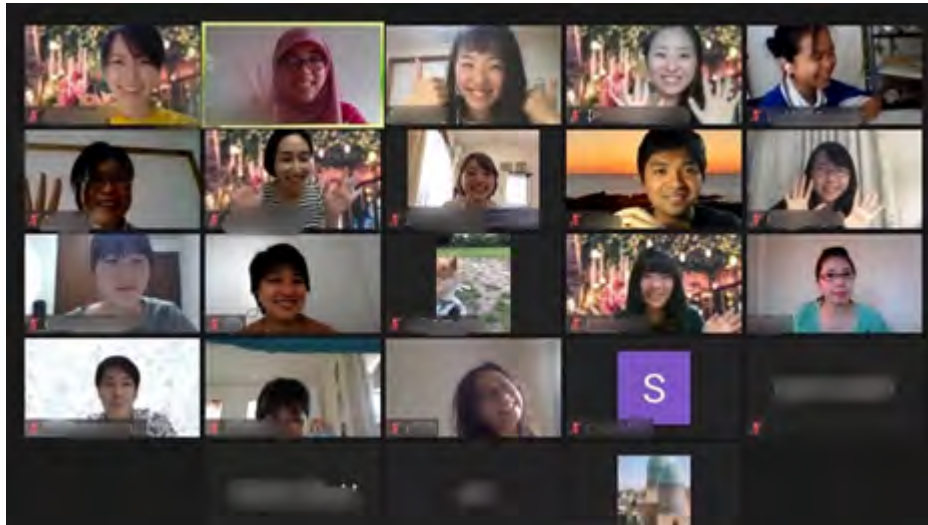
●気が付いたこと（改善点など）

来てくれたオーディエンスは、プレゼンターや運営メンバーの知り合いが多いように感じた。毎回の反省だが、もう少し参加者が増えると良いと思う。一方で、広報からイベントのことを知り参加してくれた方は、Eメールで情報を得た方が多かったため、今後も有効活用していこうと思う。

●イベントポスター



●イベントの様子



②春学期 第2回プレゼンテーションアワー 「Presentation Hour 2,0」

日時・場所：7月22日（水）15：00～17：00

参加人数：約15人

（オンライン開催のため、途中入退出分を記録することができなかった）

当日の流れ：

- 15：00 イベント開始
- 15：05－15：15 アイスブレイク
- 15：15－15：40 プレゼンテーション1
- 15：40－16：05 プレゼンテーション2
- 16：05－16：10 休憩
- 16：10－16：35 プレゼンテーション3

●イベント概要

前回同様、オンラインでの開催となった。前回の経験を踏まえ、プレゼンターを一人増やして、運営メンバーから1人、外部から2人のプレゼンターさんを招いての会になった。プレゼンテーションはまた、前回行わなかったブレイクアウトルームを用いての参加者間交流の会も予定した。

●実施した感想

前回同様、参加者の緊張をほぐすようなミニゲームを行い、明るい雰囲気イベントを開始することができた。プレゼンテーションはどの内容もとても興味深く、オーディエンスの方からたくさんの質問を頂いた。学生プレゼンターにとっても、自分の経験をプレゼンテーションという1つのアウトプットにまとめ、更に英語で話すことで、大きな成長と充実感が得られたようである。

●気が付いたこと（改善点など）

ZOOM のブレイクアウトルームの機能が使えず、参加者同士の交流の機会を設けることができなかったのが反省点である。

また、今回はプレゼンターの人数が多かったため、途中退出する人が目立ったように思える。やはり長時間のイベントだと疲れてしまうため、質疑応答の時間を短くするか、もしくはプレゼンターの数を減らすことを考えたほうが良いかもしれない。また、参加申し込みをしたものの当日参加していない人も多かった。リマインドメールを1週間前くらいに一度送るのがいいかもしれない。

●イベントポスター



●イベントの様子



【12 月 2020 年度秋学期プレゼンテーションアワー】

文責：鈴木有咲

「第 14 回プレゼンテーションアワー ～世界に広がる 20 秒～」

日時・場所：12 月 17 日（木）16:30～18:30 @ZOOM

参加人数：約 20 人

当日の流れ：

- 16:20- 受付開始
- 16:30- アイスブレイク
- 16:45- プレゼンテーション 1
- 17:10- プレゼンテーション 2
- 17:35- 休憩
- 17:45- プレゼンテーション 3
- 18:10- イベント終了、写真撮影等

●イベント概要

春学期同様、オンライン開催となった。プレゼンアワーOBの方が1名、スペシャルゲストとしてプレゼンをして下さった。プレゼンターのうち1名が、都合が合わず参加を見合わせる事となったが、事前に相談して下さっていたため、問題なく対応することができた。また、日英話者のプレゼンターばかりであったため、プレゼンの前半後半で日英を切り替えて話していただいた。そのことによって、日英どちらの話者の参加者にとっても、より惹き付けられるプレゼンとなった。

●実施した感想

始めのアイスブレイクのおかげもあり、終始和やかな雰囲気で行うことができた。3名とも、素敵な生き方や考え方が伝わるような内容のプレゼンをして下さったため、私を含め多くの参加者が勇気をもらったと思う。また、OBの方の社会人ならではのプレゼンは新鮮で刺激となったため、是非今後もOBOGの方々にゲストスピーカーとして参加頂きたいと思った。

●気づき（改善点など）

オンライン開催であると、参加者が国内外から集まることが非常に良い点だと思った。社会人の方からもオンラインであれば参加しやすいと好評だった。今後対面方式が可能となった際にも、対面とオンラインの同時進行やストリーミング配信をするなどすると、より多くの人に参加できるかもしれない。また、名大生だけでなく、名大附属高校の学生や岐阜大学の学生の参加も促進できるように、広報の改善が必要だと感じた。

●公募用ポスター（日英）

MEIDAI INTERNATIONAL
CULTURAL EXCHANGE EVENT

オンライン プレゼンテーション アワー

お申し込みは
こちらから！



12/17 (木)
16:30-18:30

スペシャル
OBゲスト！

URL: <https://forms.gle/3XJqFopQMRQaXnCq6>

若杉美穂 だから私は旅をする 一臆病な大学生 の57カ国1人旅ー	川村彩 ドイツで 過ごした 1年間	ガン ファイフイ 広島への旅	佐藤祥平 Naija Life
--	-----------------------------------	------------------------------	---------------------------

主催：プレゼンテーションアワー実行委員会&名古屋大学留学生会
&名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門
お問い合わせ先：presentation.hour@gmail.com

MEIDAI INTERNATIONAL
CULTURAL EXCHANGE EVENT

Online Presentaion Hour

Please register
from here



12/17 (Thu)
16:30-18:30

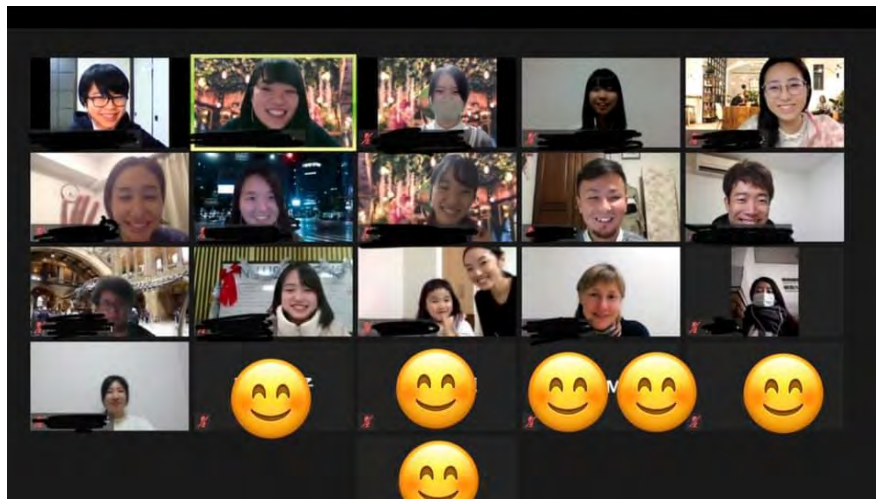
Almuni
Special
guest!

URL: <https://forms.gle/3XJqFopQMRQaXnCq6>

Miho wakasugi 57-country traveling by a timid girl	Aya Kawamura The Year I Spent in Germany	Gan Hui Hui A Trip to Hiroshima	Shohei Sato Naija Life
--	--	--	--------------------------------------

organizer: International Education & Exchange center (IEEC), Advising & Counselling Services,
Nagoya University Presentation Hour & Nagoya University International Student
Association (NUFSA)
Inquiry: presentation.hour@gmail.com

●当日の様子



【Inspire Together Online Seminar】

文責：若杉美穂

「Inspire Together Online Seminar」

日時・場所：2020年12月5日（土）13:00-17:00 Zoomにて開催。

第1部：13:00-14:45

Presentation Hour：コロナ禍における Challenge & Creation

第2部 15:00-17:00

コロナ禍における大学生活 ～共に理想のキャンパスを作ろう！

参加人数：約30人

●イベント概要

本イベントは、国際教育交流センターアドバイジング部門が主催し、一橋大学・名古屋大学・立命館大学・立命館 APU 大学が合同で行った。私たちプレゼンテーションアワーチームも学生スタッフとして準備や当日の運営に携わった。

イベントは2部構成で、第1部は「Presentation Hour：コロナ禍における Challenge & Creation」として、一橋大学・名古屋大学・立命館大学の学生がコロナ禍における交流活動を紹介しあった。形式はプレゼンテーションアワーと同様、20枚のスライドを20秒ずつ表示する形で行われた。日本語基準・英語基準で学ぶ学生が双方集うイベントのため、発表も両言語を使用するようプレゼンターの方々に依頼した。

第2部はコロナ禍における大学生活 ～共に理想のキャンパスを作ろう！～と題して、立命館 APU 大学の平井先生、名古屋大学の高木先生による参加型のワークショップが行われた。ワークショップでは、事前アンケートでの「話したい言語」の回答状況により4人程度のグループが生まれ、それぞれブレイクアウトルームに分かれて、お互いの関心や将来の目標について話し合った。

●実施した感想

4大学合同のイベントとあって、普段は交流することのない学生同士の繋がりが生まれたことが何よりの収穫だと感じる。他大学の活動内容やコロナ禍での工夫を知ること、参加者それぞれが新たな発見を持ち帰ることができた。本年度は新型コロナウイルスの影響で、交流活動を行うにあたり苦労が多かったが、同志と出会うことで、活動へのモチベーションを高められたはずである。

第2部の参加型研修では、それぞれの夢や思いを真っ直ぐに語り合うことで、2時間という限られた時間の中で濃密な交流をすることができた。先が見通せないコロナ禍の中でも、前向きに未来を見据える貴重な時間であった。

●気づき（改善点など）

本イベント終了後、他の大学で国際交流に勤しむ学生から連絡をもらうことがあった。コロナ禍の中で試行錯誤しながら国際交流活動に励む学生は非常に多いが、他の大学・団体との交流は少ない。今回のように、他団体の活動の様子を知ることによって新たな気づきがあり、自分たちの活動をよりよくしていけるため、国際交流に励む学生のコミュニティ形成は非常に意義のあることだと感じる。今回の4大学に止まらず、さらに今後この繋がりが拡大していくことを願うばかりである。

●公募用ポスター（日英）

一橋大学・名古屋大学・立命館大学・立命館APU大学

INSPIRE TOGETHER ONLINE SEMINAR

2020年12月5日(土)

定員80名（各大学約20名）
参加者大募集！
（締切12/1火 17:00）
使用言語：日本語 & 英語

申し込みフォーム↓
<http://bit.do/Inspire-Together-NU>

QRコード

第1部 13:00-14:45
Presentation Hour
-コロナ禍におけるChallenge & Creation-

コロナ禍における学生たちの共感・交流活動の
プレゼンテーションイベントです。
一橋大学・名古屋大学・立命館大学・立命館APU大学の学生
たちによるコロナ禍におけるそれぞれの活動を紹介します。

ホームページ↓
<http://bit.do/Inspire-Together2020>

QRコード

第2部 15:00-17:00
コロナ禍における大学生活
-共に理想のキャンパスを作ろう！-

“コロナ禍にあって、私たちどのような学生生活を過ごしたいのだろうか？”
“オンライン活動を含めて、私たち学生ができることは何だろうか？”と、
未来志向で話し合っており、アイデアを出し合う、勉強会オンライン
ワークショップです。ぜひ一緒に理想のキャンパスづくりについて
考えませんか？”

主催：名古屋大学国際教育交流センターアドバイジング部門
e-mail: isa@iee.nagoya-u.ac.jp （名古屋大学用ポスター）

FOR HITOTSUBASHI UNIVERSITY, NAGOYA UNIVERSITY,
RITSUMEIKAN UNIVERSITY, RITSUMEIKAN ASIA PACIFIC UNIVERSITY STUDENTS

INSPIRE TOGETHER ONLINE SEMINAR

December 5th, 2020 (Sat.)

Capacity: 80 students
(approx. 20 students per university)
Registration Due: Dec 1st, Tue 5pm
Language: Japanese & English

Application Form ↓
<http://bit.do/Inspire-Together-NU>

QRコード

Website ↓
<http://bit.do/Inspire-Together2020>

QRコード

Part I: 1pm-2:45pm
Presentation Hour
-Challenge & Creation under the pandemic-

Online presentation event on intercultural activities
by college student groups. Hitotsubashi, Nagoya,
Ritsumeikan, Ritsumeikan Asia Pacific University.
Students will share how they create online
activities under the pandemic.

Part II: 3pm-5pm Online Workshop
Our college life under the pandemic
-Let's create our ideal campus life-
"How would you like to spend your college life
under the pandemic?"
"What can we do to make our college life better?"

In this event, we will discuss our ideas among
students and exchange our thoughts and plans!

Organizer: Advising & Counseling Services, IECC, Nagoya University
e-mail: isa@iee.nagoya-u.ac.jp (Poster for Nagoya University)

●当日の様子



4. メンバー構成と心がけていること

● 4年生

若杉美穂（文学部人文学科）

非日常の空間と新たなアイデアに出会う面白さを存分に楽しんでいただけるよう、リラックスした雰囲気づくりを心がけています！

● 3年生

佐々木あみ（法学部法律政治学科）

せっかくのアイデアシェアリングと国際交流の素敵な機会、できるだけたくさんの方に来て頂けるよう、広報に力を入れています。

鈴木有咲（法学部法律政治学科）

様々な人のお話を様々な人たちと共有できるような空間づくりを意識しています。どなたでも参加しやすいようなフレンドリーな雰囲気を作るため、まずは運営メンバーも全力で楽しむことを忘れずに活動しています♪

小島未莉（経済学部経済学科）

様々な専門、バックグラウンド、または価値観をもったプレゼンターや、参加者が繋がることのできるプラットフォームを目指して募集したり、広報したりしています。私自身も毎回たくさんの考え方に刺激を受けているのでより多くの人に知ってもらいたいです！リラックスして気軽に参加できるイベントです！

～NUFSA メンバーからのメッセージ～

This is Anny from NUFSA. Inspire Together with Presentation Hour was really fun! We hosted the event together and discussed how student-led org can improve during Covid-19 with organizations from other universities! It was really helpful and I would like to thank Presentation Hour and Takaki sensei for holding this event with NUFSA!

-Anny, NUFSA

It has been a good experience organising and facilitating these online events! Hopefully we can go offline in the near future and forge stronger connections with and between the audience and speakers.

-HuiHui, NUFSA

I think presentation hour was very interesting and unique to convey ideas! I really enjoyed it as I learnt some new topics I did not know before!~ Also, I met people from different backgrounds which inspire me to do better!

-Raissa, NUFSA

名古屋大学ヘルプデスク 2020 年度 活動報告

NU Help Desk 2020 Annual Activities Report

1. ヘルプデスクとは / About Help Desk

1. 1. 概要 / Introduction

ヘルプデスクは名古屋大学から公認を受けている、留学生支援・国際交流団体である。活動内容は大きく3つに分かれており、NUPACE 学生を中心とした留学生の受入活動、国際棟ラウンジでの活動、そしてイベントの企画・運営である。受入活動では、担当する宿舎で、留学生が日本で新生活を送る支援を行い、交流をする。国際棟ラウンジでは、留学生の質問や相談に乗る窓口を果たしており、学生生活や日常生活を支援することで、日常的に留学生と交流をしている。また、定期的にイベントを企画し、多様な文化を持つ学生同士の交流を支援している。

Help Desk is an intercultural exchange support group approved by Nagoya University. Our activity is mainly divided into 3 parts. Firstly, we support international students, starting off with NUPACE students, every beginning of the semester with their start of their lives in Nagoya. Secondly, we create an environment where international students can ask questions anytime at the International Center lounge and get along with them through daily interaction. Lastly, we organize events through the year for cross-cultural interactions among the campus.

1. 2. 理念 / Mission

私たちが大切にしていることは、留学生が快適に、充実した生活を名古屋大学で送ることができるように、身近な存在として支援することである。そして、日本人学生や留学生など、多様な背景を持つ学生同士の、国際交流や異文化理解を支援する。

Our mission is to stay close to the international students and be by their side when they need help in their daily lives. Moreover, we aim to promote an intercultural atmosphere by providing opportunities for everyone to come across new people, new cultures, values, and ideas.

1. 3. 構成員 / Members

名古屋大学の学部1年生から博士後期課程3年生、そして、交換留学生（NUPACE 学生）の総勢42名で構成されている。

Students all years of Nagoya University and exchange students in total of 42 members

2. 2020 年度活動

2.1. 新型コロナウイルス蔓延下における今年度の活動について

小島未莉

新型コロナウイルスの影響のため、名古屋大学の活動指針の警戒カテゴリーが C（緊急事態）となり、学部学生の登校が禁止となった。そして、課外活動レベルも 3 になったことから、ヘルプデスクの対面活動は 4 月 7 日から期間未定で禁止となった。その中で、新しくオンラインミーティングツールの Zoom を活用することで活動を継続していた。留学生の状況としては、2020 年度は新規の NUPACE 学生の受け入れが中止され、継続 NUPACE 学生たちは、宿舍から遠隔授業を受講したり、帰国せざるを得ない学生もいたりした。そのため、今年度は、例年実施される、春学期と秋学期の受入活動、各種パーティーや対面イベントを行うことができなかった。そして、春学期は、先が見えずに宿舍にこもっていたり、日本の観光はもつてのほか、日本人との交流や日本文化体験ができなかったりするなど、満足した留学生活を送れずにいた留学生に向けて、LINE 公式アカウントを用いて新型コロナウイルスの状況を伝える“Corona Virus Update”、日本の文化や楽しい情報を提供する“NU Times”など、SNS を活用した企画を開始した。また、7 月 1 日より課外活動レベルが 2 に引き下がり、学部学生の登校が可能になったため、日時と場所を指定し、帰国の手続きに対する質問の対応を行う「サポートデスク」も行った（7 月 27 日より活動レベルが再び 3 となったためサポートデスクも打ち切りとなった）。そして、8 月の留学生が帰国する時期には、「NUPACE お別れビデオ」を作成した。秋学期は、対面での授業が少しずつ再開し、課外活動の規制も緩和されたため、教室とオンラインの両方を活用した「ハイブリッド」ミーティングの実施を開始した。名古屋大学への留学を希望する学生に向けて、名古屋大学や日本の紹介をした YouTube チャンネルの“Nagoya University HELP DESK”を立ち上げ、撮影から編集、ナレーションまでメンバー内で協力しながら行った。

ほかにも、今年度の特徴としては、他団体とのコラボレーションがある。学内の留学生が減少し、活動もオンラインに制限され、新しいメンバーの勧誘も難しかったため、同じように悩む団体と協力することで活動を継続していた。コーヒアワーや名古屋大学生協留学生委員会（COFSA）との Coffee Hour 共同主催、G30 の元で活動する NUISG との共同撮影企画、そして名古屋大学日本語短期プログラム（NUSTEP）内のバーチャルキャンパスツアー兼交流会開催など、様々な団体と協力することで、限られた範囲で最大限に活動することができた。しかしながら、今年度は留学生の支援や交流ができていないため、あまり新メンバーの勧誘ができなかった。留学生の受け入れの再開を期待して、来年度は、新メンバーを巻き込んで、オンラインを活用しながら、活動を継続していきたい。

2.2. 活動表

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの活動表である。今年度は、初の試みとして、YouTube チャンネルを開設した。そして、コーヒアワー、COFSA、NUISG、NUSTEP オフィス、NU-EMI (Game Night の主催者) などの他団体や部署とコラボレーションした。

月日	内容	月日	内容
4 月 14 日	全学新入生歓迎委員会による ヘルプデスク紹介	8 月 31 日	留学生オリエンテーション 資料提出
4 月 17 日	LINE 公式アカウント配信	9 月 11 日	活動紹介パンフレット 資料提出
4 月 18 日	NU Times vol. 1 公開	10 月 20 日	YouTube 撮影
4 月 20 日	LINE 公式アカウント配信	11 月 11 日	Coffee Hour (共同主催)
4 月 22 日	全学新入生歓迎委員会による ヘルプデスク紹介	11 月 16 日	名大エキスポ撮影
	LINE 公式アカウント配信	11 月 17 日	YouTube 撮影 YouTube 動画①公開
4 月 24 日	LINE 公式アカウント配信	11 月 24 日	YouTube 撮影
4 月 26 日	NU Times vol. 2 公開	12 月 4 日	YouTube 撮影
4 月 27 日	LINE 公式アカウント配信	12 月 12 日	名大エキスポ動画公開
4 月 29 日	LINE 公式アカウント配信	12 月 14 日	YouTube 撮影
5 月 1 日	LINE 公式アカウント配信	12 月 19 日	NUISG コラボビデオ撮影
5 月 3 日	NU Times vol. 3 公開	12 月 22 日	YouTube 動画②公開
5 月 4 日	LINE 公式アカウント配信	12 月 23 日	YouTube ナレーション Coffee Hour (共同主催)
5 月 6 日	LINE 公式アカウント配信	12 月 28 日	YouTube 動画③公開
5 月 9 日	NU Times vol. 4 公開	1 月 1 日	NUISG コラボビデオ公開
5 月 17 日	NU Times vol. 5 公開 LINE 公式アカウント配信		YouTube 撮影
5 月 25 日	NU Times vol. 6 公開	1 月 6 日	Coffee Hour 合同 オンライン新年会
5 月 30 日	NU Times vol. 7 公開	1 月 12 日	YouTube 撮影
6 月 7 日	NU Times vol. 8 公開	1 月 13 日	合同説明会
6 月 10 日	Coffee Hour (共同主催)	1 月 26 日	留学生オリエンテーション 資料提出
6 月 15 日	NU Times vol. 10 公開	2 月 9 日	合同説明会 NUSTEP リハーサル
6 月 27 日	NU Times vol. 11 公開	2 月 11 日	NUSTEP オンラインイベント Game Night
7 月 1 日	合同説明会	2 月 15 日	NUPACE VCTP 編集
7 月 6 日	NU Times vol. 12 公開 サポートデスク		
7 月 9 日	サポートデスク		
7 月 11 日	NU Times vol. 13 公開		
7 月 13 日	Coffee Hour (共同主催)		

名古屋大学ヘルプデスク / NU Help Desk 2020

7月13日	サポートデスク	2月15日	YouTube 動画④公開
7月16日	サポートデスク	2月16日	YouTube 撮影
7月18日	NU Times vol. 14 公開	2月18日	YouTube 撮影
7月20日	サポートデスク		Game Night
7月22日	サポートデスク	2月25日	Game Night
7月25日	NU Times vol. 15 公開	3月 4日	Game Night
7月27日	サポートデスク (※)	3月 5日	NUPACE VCTP 動画提出
7月29日	サポートデスク (※)		YouTube 動画⑤公開
8月 2日	NUPACE お別れビデオ撮影 1	3月 9日	YouTube 動画⑥公開
8月 4日	NUPACE お別れビデオ撮影 2	3月11日	Game Night
	NUPACE お別れビデオ撮影 3	3月18日	Game Night
8月 5日	NUPACE お別れビデオ撮影 4	3月23日	YouTube 撮影
	NUPACE お別れビデオ撮影 5	3月25日	センター長顕彰授与式
8月18日	NUPACE お別れビデオ公開		Game Night

(※) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令に伴い7月27日より再び活動レベルが3となったため中止となった。

2.3. ミーティング

活動について話し合いや計画を行うために、週に1回程度、ミーティングを行う。コラボレーションをしているグループともミーティングを行うため、今年度はミーティングの頻度が増えている。しかしながら、各々は自由に、都合に合わせて調整し、出席することができる。また、今年度はオンライン会議ツールである「Zoom」の利用を開始した。登校が不可能な期間には、オンライン上のミーティングのみ、登校が可能な期間は、予約した教室でパソコンを用いて Zoom を繋ぎ、ハイブリッド形式のミーティングを実施していた。参加メンバーはオンラインと対面参加を自由に選択することができる。

月日	場所	内容
4月13日	オンライン	春学期オンライン活動について NU Times、LINE 公式アカウント作成、新歓宣伝
5月18日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
5月27日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
6月1日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
6月8日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
6月15日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
6月18日	オンライン	合同説明会事前ミーティング
6月22日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
	オンライン	Coffee Hour、COFSA ミーティング
6月28日	オンライン	春学期活動案、合同説明会、Coffee Hour
7月6日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
7月20日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
10月7日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
10月8日	国際棟 207 号室 オンライン	秋学期活動について、オンラインイベント企画
10月13日	国際棟 207 号室 オンライン	Instagram、YouTube 撮影計画、オンラインイベント企画
10月14日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
10月20日	国際棟 207 号室 オンライン	YouTube 撮影計画、NUISG コラボ
10月21日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
10月27日	国際棟 207 号室 オンライン	YouTube 撮影計画、NUISG コラボ
10月28日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
10月30日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング
11月4日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
11月10日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング内容共有、YouTube 撮影
11月13日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
11月17日	国際棟 207 号室 オンライン	YouTube イントロ、撮影内容・日程決め
11月18日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング
11月24日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング共有、YouTube

名古屋大学ヘルプデスク / NU Help Desk 2020

11 月 25 日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
12 月 1 日	国際棟 207 号室 オンライン	YouTube 撮影計画、NUSTEP
12 月 2 日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
12 月 8 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUSTEP 打ち合わせ、YouTube 撮影計画
12 月 9 日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
12 月 10 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング
12 月 15 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG 共有、YouTube 撮影計画、合同説明会
12 月 16 日	オンライン	Coffee Hour ミーティング
12 月 17 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング
12 月 22 日	国際棟 206 号室 オンライン	YouTube 撮影計画
12 月 25 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング
1 月 6 日	オンライン	合同説明会、活動報告書作成ミーティング
1 月 12 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUSTEP、YouTube 撮影計画、合同説明会
1 月 14 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUISG ミーティング
1 月 19 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUSTEP、YouTube 撮影計画
1 月 21 日	オンライン	Game Night ミーティング
1 月 26 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUSTEP、YouTube 撮影計画
1 月 28 日	オンライン	Game Night ミーティング
2 月 2 日	国際棟 207 号室 オンライン	NUSTEP
2 月 4 日	オンライン	Game Night ミーティング
2 月 9 日	国際棟 207 号室	NUPACE VCTP ミーティング
2 月 12 日	オンライン	NUPACE VCTP ミーティング
2 月 16 日	国際棟 201 号室 オンライン	活動報告書、新歓、YouTube、春休みの活動について
	オンライン	NUPACE VCTP ミーティング
2 月 26 日	オンライン	NUPACE VCTP ミーティング
3 月 2 日	国際棟ラウンジ	新歓、NUPACE VCTP、YouTube 撮影計画
3 月 9 日	国際棟ラウンジ	特になし
3 月 16 日	国際棟 207 号室 オンライン	YouTube 撮影計画、新歓
3 月 23 日	国際棟 207 号室 オンライン	新歓、YouTube 撮影計画
3 月 30 日	国際棟ラウンジ オンライン	新歓、名大祭フリマ、春学期ミーティングについて

2.4. 新規渡日交換留学生の受け入れ

小島未莉

交換留学受入室と協力しながら、春と秋の学期に名古屋大学に留学にする留学生が宿舎に入居する手続きの支援を行う。担当の宿舎にて、鍵や書類の受け渡し、また、大学での登録手続きの補助も担当する。また、名古屋での生活に慣れてもらえるように、宿舎周辺のショッピングモールの買い物ツアーや、大学やフードコートでの夕食ツアー、そして、ウェルカムパーティーなどのイベントを企画し、来日して緊張している留学生とのコミュニケーションを図る。留学生同士の交流のみならず、日本人と留学生の交流も行うことが狙いだ。

今年度は新型コロナウイルスの影響で春学期、秋学期とともに新規の交換留学生の受け入れが中止となったため、実施されなかった。

2.5. 国際棟ラウンジでの活動

名古屋大学東山キャンパス国際棟 1 階ラウンジに、机 3 つ、椅子 6 つ、ホワイトボード 2 つ、物品庫 1 段からなるヘルプデスクコーナーがある。新型コロナウイルスの影響で学生が登校できない期間もあったが、可能な際には、感染症対策を徹底しながら、質問対応を行っていた。

(1) サポートデスク

佐々木あみ

日程：2020 年 7 月 6 日～7 月 29 日

場所：名古屋大学国際棟 1 階ラウンジ

コロナ禍の状況下で名古屋大学に残っている留学生の不安や、帰国に当たっての質問に対応するために、曜日を限定し、週 2 回のペースで国際棟にて質問対応デスクを設置した。それまでは LINE 公式アカウントなどを用いてオンラインでの対応をしていたが、帰国に当たっての質問が増えてくることが予想されたため、より親身に対応できる、対面での質問対応を再開することとなった。

元から名古屋大学に残っている留学生の数が少なく、授業のオンライン化もあり大学に来ることが少ないので、デスクに来る学生は多くはなかったが、幾人かの学生が尋ねてくれた。質問内容・悩みの相談としては、「帰国するときに荷物を入れる段ボールがほしい」などいった、帰国に関するものが多かった。



サポートデスク第 1 弾ポスター



サポートデスク第 2 弾ポスター

(2) 通常ヘルプデスク

小島未莉

日程：2020年10月7日（水）～2021年2月9日（火）

（大学封鎖期間11月13日（金）、11月16日（月）は除く）

場所：名古屋大学国際棟1階ラウンジヘルプデスクコーナー及びその周辺

国際棟1階のヘルプデスクコーナーにおいてヘルプデスクメンバーが、留学生からの質問や留学生活中の質問や相談について対応する。例年は、留学生が日本に来て間もない学期の始めの4月や10月のそれぞれ1か月間に質問が集中しているが、今年度は、学期を通して質問は少なく、日本語研修生やG30の学生からの質問や交流が多かった。

質問内容

- ・手続きの場所がわからない
- ・先生の部屋がわからない
- ・日本語を話す練習がしたい

2.6. イベント

(1) 説明会

安富聡一郎

日程：2020年7月1日（水）、2021年1月13日（水）、2月9日（火）12:00～13:00

場所：Zoom

参加者：合計約10名～20名

各学期に国際交流系の学生グループを紹介する合同説明会を開催した。春学期の合同説明会には、コーヒアワー、プレゼンテーションアワー、留学のとびら、ヘルプデスクの4団体が参加し、秋学期の合同説明会は、それらに名古屋大学生協留学生委員会（COFSA）が加わった。コロナ禍の中でも国際交流に興味を持って多くの人に参加してもらい、ヘルプデスクにも参加するきっかけとなった。



春学期 合同説明会 ポスター



秋学期 合同説明会 ポスター

(2) LINE 公式アカウント “Corona Virus Update”

今井美希

日程：2020年4月17日～5月17日

緊急事態宣言が発出されている中で、日本におけるコロナの状況やコロナに対する対応を日本に残っている留学生に伝えるために、LINE 公式アカウントを利用して週 2～3 回のペースで情報を発信した。具体的には、日本の感染者数の推移や、Japan Times の記事の URL、特に愛知県に関わる情報が掲載されている日本の新聞記事を英訳したものを提供した。LINE 公式アカウントの登録者はヘルプデスクメンバーを含め 17 人（2021 年 2 月現在）であったが、今後も利用することができそうだ。



4月17日（金）LINE 公式アカウント “Corona Virus Update”

(3) NU Times

小林志帆

日程：2020年4月18日～7月25日

場所：LINE 公式アカウント・Facebook・Instagram

内容：

NU Times は名古屋大学の留学生の役に立つ情報を少しでも多く提供したいという思いから発行された情報媒体である。SNS を用いて、日本で流行しているものや日本の伝統的な文化、一般的なスラングの紹介といったテーマを中心に 7 名の担当者が日本語や英語で書き、およそ週に 1 回の頻度で定期的に発行し、vol. 15 まで発行した。

気づき、改善点：

編集者各自で、自国で待機中の留学生をターゲットに、工夫した記事を書くことができ、充実した内容だった。担当者と日程の計画を事前に立てたため、更新もほぼ定期的であった。しかし、秋学期までつなげることは出来なかった。そのため、来年度は担当者を増やし、より長い期間継続させていきたい。

LINE 公式アカウントの登録者はヘルプデスクメンバーを含め 17 人（2021 年 2 月現在）とやや少なく、利用してもらえるような PR が今後の課題だ。



NU Times vol. 7



NU Times vol. 13

(4) Coffee Hour とのコラボレーション

小島未莉

日程：2020年 6月10日(水) 13:00~14:30 6月 Coffee Hour
「みんなでおしゃべり / Chatting with Everyone」
7月13日(月) 12:00~13:00 7月 Coffee Hour
「写真を共有しよう / Let's Share Your Experiences with Photos!」
11月11日(水) 12:00~13:30 11月 Coffee Hour
「ゲームをしよう / Let's Play Games」
12月23日(水) 12:00~13:00 12月 Coffee Hour
「ふるさと、自分にとって安心する場所 / Places that Feel like Home」

5月にコーヒーアワーからお声掛けをいただき、共同で Coffee Hour を開催することになった。ヘルプデスクからは3名がメンバーとして運営にかかわった。6月イベントでは、「自己紹介すごろく」を作成し、グループ内でお互いを知る企画をし、7月イベントでは、思い出の写真を共有しながら、交流を深めたりした。また、7月からは名古屋大学生協留学生生委員会(COFSA)とも共同で運営をすることで、コーヒーアワーやヘルプデスクではリーチができないG30や研究生などの留学生にもアプローチすることができた。登校ができない中でも、留学生や一般学生が繋がることができるように、Zoomを活用し、試行錯誤しながら企画した。特に写真の共有などは、オンラインだからこそできたので、来年度もオンラインを駆使しながら工夫したイベントを企画していきたい。



7月 Coffee Hour ポスター



12月 Coffee Hour ポスター

(5) NUPACE お別れビデオ制作

小島未莉

日程：2020 年 8 月

概要：ヘルプデスクメンバー4名で、夏に帰国する2020年度のNUPACE学生向けにメッセージビデオを作成した。

毎学期開催されるNUPACE Farewell Partyが開催できなかったり、留学生同士、先生、そして、一般学生との交流があまりできなかったりして、学期が終了してしまったため、少しでも2020年度春学期の継続NUPACE学生たちに日本での思い出を振り返ってほしいと思い、始めた。ACE、コーヒアワー、プレゼンテーションアワー、留学のとびらなどの、国際交流団体や、NUPACE学生が関わりを持っていた先生方にビデオや手紙などのメッセージビデオをいただき、イベントの写真や大学の風景とともにビデオを編集してNUPACE学生へ送った。ヘルプデスクのメンバーの協力のみならず、各団体、先生方の協力を得て作り上げることができた。NUPACE学生からもメッセージをもらったことから、喜んでもらえた。

(6) YouTube チャンネル「Nagoya University HELP DESK」

天田裕文

日程：2020 年 10 月～現在

参加者：10 名程度

これから日本に留学する海外の大学生（及び日本への留学を検討している海外の大学生）に向けて、大学の紹介や日本の大学生活に関する動画を企画・撮影・編集しYouTube上にあげる活動を行った。ヘルプデスクのメンバーは動画作成に関して初心者であったが、大学院に在籍する先輩方の力も借りることで少しずつスキルを磨きながら動画を投稿していき、2021年3月時点では公開動画数が6本、チャンネル登録者数67人、再生回数4262回、総再生回数時間に関しては89時間を突破した。本企画では、動画の企画から、撮影、編集だけではなく、メディアマーケティングなど様々なことについて学ぶことができた。今後は、大学や日本の文化の紹介だけではなく、宿舍の紹介や定期的買い方などより留学生にとって実益も伴う動画を作成していこうと考えている。

投稿動画詳細：

- ① 2020 年 11 月 17 日 HELP DESK の日常
- ② 2020 年 12 月 22 日 HELP DESK 秋の名古屋大学🍁：豊田講堂、カフェブラン、芝生
- ③ 2020 年 12 月 28 日 HELP DESK 名古屋大学散歩(文系編)👤👤：経済学部, 文学部, 中央図書館, 情報学部, 全学教育棟
- ④ 2021 年 2 月 15 日 HELP DESK 名古屋大学 理系エリアキャンパスツアー
- ⑤ 2021 年 3 月 5 日 HELP DESK 名古屋大学 経済学部キャンパスツアー
- ⑥ 2021 年 3 月 09 日 名古屋大学中央図書館の魅力



文系エリア YouTube サムネイル



理系エリア YouTube サムネイル

(7) 名大エキスポ動画

小島未莉

日程： 2020 年 11 月

場所： YouTube

参加者：2 人

概要： 2020 年名大祭の代替となる、オンラインでの活動紹介の場である「名大エキスポ」に国際交流系の団体紹介ビデオに参加した。

プレゼンテーションアワーが中心となって、国際交流系の団体の紹介ビデオを作成した。主に日本語と英語でヘルプデスクの活動を紹介した。名大祭の代替オンラインエキシビションである「名大エキスポ」にて、期間中公開された。

(8) NUISG コラボ

早川佳太

日程： 2020 年 12 月～2021 年 2 月

参加者：16 名（うちヘルプデスクメンバー9 名）

G30 の学生を中心に活動している NUISG (Nagoya University International Student Group) と共同で名古屋大学を PR する動画を作成し、両団体の Instagram に掲載した。動画の構成を検討するために複数回のミーティングを重ね、撮影後も共同で動画編集や字幕付けを行った。撮影当日には、出演者 2 人（両団体から 1 人ずつ）で写真に写っているものがどこにあるのかを探しながら、東山キャンパス内を紹介して歩いた。投稿した動画はかなりクオリティが高く、両団体の Instagram での合計再生回数は 750 回を超えている。他の国際交流団体とのコラボレーションでは学ぶことも多く、今後も同様の取り組みを継続できればと考えている。

(9) NUSTEP オンラインイベント

伊藤舞、今井美希、平田理々奈

日程： 2021 年 2 月 11 日（木）13：30～16：30

場所： Zoom

参加者： 16 名（中国・台湾・韓国より）＋日本人メンバー約 10 名

概要： 自己紹介、キャンパスツアー動画（YouTube より）、ルームツアー（宿舎、一人暮らし、自宅、自宅の周りの紹介）、ゲームなどを約三時間、Zoom を使って行った。

名古屋大学短期日本語プログラム（NUSTEP）とは、名古屋大学が提供する 2 週間の集中日本語プログラムである。日本語のみならず、日本の文化・社会への理解を深めたり、名古屋大学の学生と交流をしたりすることが醍醐味である。例年 NUSTEP は対面で行っていたが、今年はコロナの影響により対面は中止となった。そこで、NUSTEP の担当者の方からお話をいただき、ヘルプデスクの YouTube 配信とコラボする形でオンラインキャンパスツアーを開催することとなった。準備期間は約 3 か月ほどである。

本番は大きな問題もなく終わることができた。事前のリハーサルと役割分担が役に立ったように感じる。

ゲームではブレイクアウトルームを使ったり、キャンパスツアー・ルームツアーの後に質問や感想を聞いたりするなどして、オンラインでも多くコミュニケーションをとれるように工夫した。また、Zoom のチャット機能も積極的に活用した。質問コーナーでは大勢の前で発言するのをためらうことを考慮し、Slido を使って匿名で質問を募集できるようにした。当日は日本人からも海外の方からも多くの質問が集まり、とても有意義な時間だったように感じる。

(10) Game Night

鈴木風羽子

日程： 2021 年 2 月 11 日～3 月 25 日の毎週木曜日

場所： Zoom

参加者： 運営スタッフを含める約 15 名

概要： ワードウルフや Gartic、ジェスチャーゲームなどのレクリエーションを、Zoom を使って行っている。

Game Night は、コロナ禍で学生同士の交流が途絶えている留学生に楽しんでもらうことを目的とした、オンラインでゲームを行う企画である。NU-EMI プロジェクトの杉山先生からお話をいただき、ヘルプデスクメンバーも運営や広報などを手伝わせていただいている。今後は日本人の参加者を増やし、留学生と日本人学生の交流の場となると良いと考えている。



2 月 11 日（木）Game Night ポスター



2 月 25 日（木）Game Night ポスター

(1 1) NUPACE VCTP

嶋崎花音

日程：2021 年 2 月～3 月

NUPACE Virtual Campus Tour Project (NUPACE VCTP) という、交換留学受入室 (NUPACE オフィス) 主催のキャンパスツアー動画作成活動に協力した。2021 年度春学期の NUPACE 学生が日本に入国できないため、オンラインでキャンパスツアーを再現するためである。

ヘルプデスクは、アジア法交流館と国際教育交流センター (IEEC) の動画作成を担当した。前述の通り、ヘルプデスクの YouTube 活動においてアジア法交流館と IEEC の動画撮影は行っていたため、NUPACE オフィスの目的に沿う様、英語ナレーションの作成及び再編集を行った。

ヘルプデスクがこれまで行ってきたキャンパス動画作成活動のノウハウをもって、NUPACE オフィスの活動に貢献できる良い機会となった。

3. 資料

3.1. 団体設立

設立年月	2005 年 4 月
設立場所	名古屋大学留学生センター1 階 105 号室海外留学室 (名古屋大学国際棟 1 階)
設立教員	名古屋大学留学生センター短期留学部門助手 筆内美砂 (名古屋大学国際機構国際教育交流センター国際プログラム部門)
設立協力	名古屋大学留学生センター教育交流部門 (名古屋大学国際機構国際教育交流センターアドバイジング部門)

3.2. 沿革

2005 年度	春学期 開始前	学生が参加を呼びかけられる 参加希望の学生に対して説明会が開かれる
	4 月	「通常ヘルプデスク」開始 (2 週間に渡り実施)
	9 月	ヘルプデスクを留学生センターラウンジに移動
	2006 年度 4 月	活動期間を 3 週間とする
2008 年度	秋学期 活動期間後	活動期間後にイベントを実施したいという要望を出す 「書き初め会」開催
	秋学期後	窓口を国際嚶鳴館に設置したいという希望を出す
	2009 年度 4 月 6 日	国際嚶鳴館「出張ヘルプデスク」開始
2010 年度	6 月 5 日	ガスト杣中店「夕食ツアー」開始
2011 年度	4 月 4 日	名大祭「フリーマーケット」開始
	9 月 27 日	生協ダイニングフォレスト「夕食ツアー」開始 国際嚶鳴館「ピザパーティー」開催
2012 年度	4 月 6 日	国際嚶鳴館「ウェルカムパーティー」開始
2013 年度	11 月 1 日	国際棟ラウンジ「ハロウィーンパーティー」開始
2016 年度	6 月 29 日	Facebook ページ「NU HelpDesk」開始 (※1)
	8 月 1 日	国際棟ラウンジ「Today's Japan」開始
	5 月 14 日	国際棟ラウンジ「たこ焼きパーティー」開始
2018 年度	10 月 5 日	国際棟ラウンジ「NU Times」開始
	11 月 20 日	第 1 グリーンベルト「ピクニック」開始
	2 月 25 日	平成 30 年度名古屋大学総長顕彰採択
	4 月 9 日	Instagram「nagoyaunivhelpdesk」開始 (※2)
2019 年度	4 月 19 日	国際棟ラウンジ「リッツパーティー」開始
	2 月 15 日	国際棟ラウンジ「第 1 回ヘルプデスク同窓会」開催
	4 月 13 日	オンラインミーティング導入
2020 年度	4 月 14 日	LINE 公式アカウント「HELPDESK」開始
	5 月 18 日	Coffee Hour コラボレーション開始
	10 月 30 日	NUISG コラボレーション開始
	11 月 17 日	YouTube「Nagoya University HELP DESK」開始 (※3)
	12 月 8 日	NUSTEP 協力開始
	3 月 18 日	Twitter「NU HELP DESK」開始 (※4)

- ※1 Facebook NU HelpDesk, @NuHelpdesk
<https://m.facebook.com/NuHelpdesk/>
- ※2 Instagram NU HELP DESK, @nagoyaunivhelpdesk
<https://www.instagram.com/nagoyaunivhelpdesk/>
- ※3 YouTube Nagoya University HELP DESK
<https://www.youtube.com/channel/UCUbzDbB0c8rr-8gRgIq44xw>
- ※4 Twitter NU HELP DESK, @nu_helpdesk
https://twitter.com/nu_helpdesk

留学のとびら 2020 年度 活動報告書

文責：深見勇馬、佐々木あみ、小島未莉、ウェストビィ三紗

留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生(以下名大生)の留学支援を目的とし、実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者によって運営されている名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。多様な留学経験を持つメンバー同士、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、時には海外留学室と協力しながら実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

留学のとびらの理念

1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出

名古屋大学ではこれまで以上に多数の学生を留学に輩出することを目標としている。本団体では留学を希望する名大生に情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになるような場を創造することで、将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。

2. 交換留学コミュニティの形成

他大学と比較すると、本学の交換留学経験者の繋がり薄い。それを改善するため、留学が決まった学生から帰国した学生までを対象に懇親会や交流会、また SNS を活用したネットワークを運営している。

3. メンバーの個性とリーダーシップの発揮

メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

設立の経緯

2009 年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」は、2019 年で設立 11 年目を迎えた。(2010 年より主要メンバーが卒業・進学等で団体運営が困難になったため海外留学室が主体となり、2010 年 12 月に新たにメンバーを募集して再設立)。2018 年度も同状況により運営を停止していたが、留学中の学生が中心となり 2019 年 4 月に再始動した。このように、留学を終えたメンバーが中心となって構成されるため、在籍できる期間も短く流動的であるため、継続した活動を維持するためのシステム構築が課題と感じている。

メンバーについて

現在は帰国したメンバー 9 名、2021年度派遣予定のメンバー 3 名の計12名で活動している。

教育学部人間発達科学科 4 年 野場 彩乃 (アメリカ・ミネソタ大学)
文学部言語学専攻 4 年 増田 浩子 (シンガポール・南洋理工大学)
文学部言語学専攻 4 年 若杉 美穂 (イギリス・ウォリック大学)
工学部マテリアル工学科 4 年 深見 勇馬 (アメリカ・フロリダ大学)
法学部法律政治学科 3 年 佐々木あみ (スウェーデン・ウプサラ大学)
文学部人文学科 4 年 岡田ももか (オーストラリア・オーストラリア国立大学)
文学部人文学科 2 年 ウェストビィ三紗 (アメリカ・ニューヨーク大学)
工学部マテリアル工学科 2 年 野村優登 (フィリピン留学予定)
経済学部経済学科 3 年 小島未莉 (ドイツ・ミュンヘン工科大学交換留学内定)
情報学部人間・社会情報学科 2 年 笹本 宗歩 (アメリカ・ケンタッキー大学交換留学内定)
文学部人文学科 4 年 戸倉菜津子 (デンマーク・コペンハーゲン大学)
工学部マテリアル工学科 3 年 天田裕文 (アメリカ・ノースカロライナ大学)

2020 年度活動状況

2020 年4月-	公式LINEアカウントでの質問・相談対応 (随時)
6月-	オンライン英会話イベント「留とびEnglish Cafe」開始 留学体験談発表イベント開始
7月-	合同説明会参加
8月-	名古屋大学交換留学を志望する学生に向けた、 交換留学応募書類の添削および二次審査面接対策 Instagramアカウントにて大学紹介・留学エピソードの投稿を開始 IELTS講座内 留学計画ワークショップ
11月-	海外留学奨学金を受給した学生による奨学金説明会の開催
12月-	留学に内定した学生向けのメンター制度をリリース
2021年1月-	合同説明会参加
2, 3月	IELTS講座内 留学計画ワークショップ

活動内容詳細

メンター制度



〈目的〉

- ✓ 留学前準備、留学中、留学後までの包括的なサポート
- ✓ コロナ禍の留学で予想されるこれまで以上の不安と困難に対応

〈内容〉

交換留学に行く学生へのサポートをより充実させるべく、2020年度より留学のとびらメンター制度を新設した。

コロナ禍での留学はこれまで以上に不安と困難が予想される。コロナ禍でも果敢に留学に挑戦しようと準備をしている学生にこれまで以上のサポートを提供する。

留学のとびらが海外留学室と連携して、これから全学間交換留学に行く学生にメンター（名大生交換留学経験者）をアサインし、メンターが個別メンタリングを実施する仕組みで、留学のとびらは応募プロセスから、マッチングサポート、初顔合わせミーティング、メンター・メンティーペアのサポートを行っている。

〈効果〉

現在のところ、2021年秋の渡航予定者からメンター制度利用希望を募り、メンターとのマッチングを海外留学室と連携して調整中。

1/7時点で、渡航内定者約20名のうち、12名がすでに応募しており、渡航予定者からたくさんのニーズを獲得している。

交換留学選考対策

〈目的〉

- ✓ 名大生の交換留学出願の促進
- ✓ 留学計画の現実化

〈内容〉

留学のとびらでは交換留学選考の対策として、留学相談会、志望理由書の添削、模擬面接を行っている。昨年度秋募集の際の実績は、10名相談会参加、4名の志望理由書添削、2名の模擬面接実施。彼らの留学計画をより良くするサポートを行った。

2020年度より、従来の模擬面接制度を一新し、オンライン模擬面接（Zoom）の予約制を導入した。この方法はパンデミック最中でも安全だけでなく、模擬面接希望者が留学のとびらメンバーの誰に、いつ、依頼したいか選ぶことが簡易になった。

さらに、志望理由書を添削する人数を増やしたことで、よりの確なアドバイスを与えることができるようになった。



留学奨学金紹介イベント

〈目的〉

- ✓ 留学に興味を持っているが金銭面が課題になっている学生の不安の解消
- ✓ 留学をポジティブに考えられるようになってもらう

〈内容〉

2019年度秋派遣で民間の海外留学奨学金を得た名大生5人が各奨学金の説明・選考の体験談を話すオンラインイベントを開催した。

取り扱ったのは、トビタテ留学JAPAN・TOMODACHI住友商事奨学金・業務スーパードリーム財団・エプソン国際奨学金の4種類。各奨学金の財団の説明、選考方法について、選考を通過する上での工夫、申し込みのファーストステップなどについてお話した。



〈効果〉

参加者は26人と、留学のとびらのオンラインイベントの中ではかなり多い人数を集客できた。参加者はイベントを通して申し込みたい奨学金を定め、さらに登壇者と個人的につながることでできた学生も数人おり、現在各々個人的に相談に乗っている。選考方法や選考の上でのコツまで伝えたため、申し込み方法について具体的にイメージできるようになったという声を聞いている。

English Cafe

〈目的〉

- ✓ 留学に行きたいが英語力に不安を持つ学生のための英語学習
- ✓ 英語学習方法の共有

〈内容〉

アンケートやヒアリングを通して学生から、「留学に興味があるけど英語力が足りない」「英語の勉強方法を教えて欲しい」「英語を話す機会がない」と、英語学習に関する要望が多かったため、今年度から英語を学ぶイベントとしてEnglish Cafeを新設した。

2週間に1回、Zoom上にて英語でディスカッションを実施している。また、留学経験を持つ先輩が英語学習の方法を紹介した。留学にいく日本人学生のほとんどが抱える英語力不足の問題に質(英語学習)と量(英語を話す機会)の両方の観点からアプローチし、留学にいく学生のさらなるサポートをしていく。



〈効果〉

これまで延べ43名の学生が参加し、英語学習を行う際のアドバイスをもらった学生からは、「日本にいながらでもこの方法なら英語力がつきそう」「今日から試してみたい」との声が得られた。

コロナ禍で海外から名大への交換留学生在が激減し、キャンパス内での英会話の機会が減っていたことから、多くの学生から「英会話の機会が少なくなり困っていたが、English Cafeを通じて英語を話すことが増えた」「もっと開催してほしい」「English Cafeで知り合った学生と一緒に英会話の練習を始めた」とのフィードバックが得られた。

留学経験談イベント

＜目的＞

- ✓ 留学に興味はあるが悩んでいる学生に留学の楽しさを伝え、留学を積極的に考えてもらう
- ✓ 留学先の国や大学に迷っている学生に、現地でのリアルな大学生活の様子を紹介し、留学先選定のヒントを作る
- ✓ 留学に内定した学生に現地生活の対する心構えや注意事項について紹介し、より充実した準備ができるようにする

＜内容＞

シンガポール、イギリス、オーストラリア、アメリカ、スウェーデン、香港の6か国・7大学での留学経験談オンラインイベントを開催した。留学に行くことを決めた理由から、現地での生活、珍エピソード、留学前に準備しておくことなどの紹介をした。

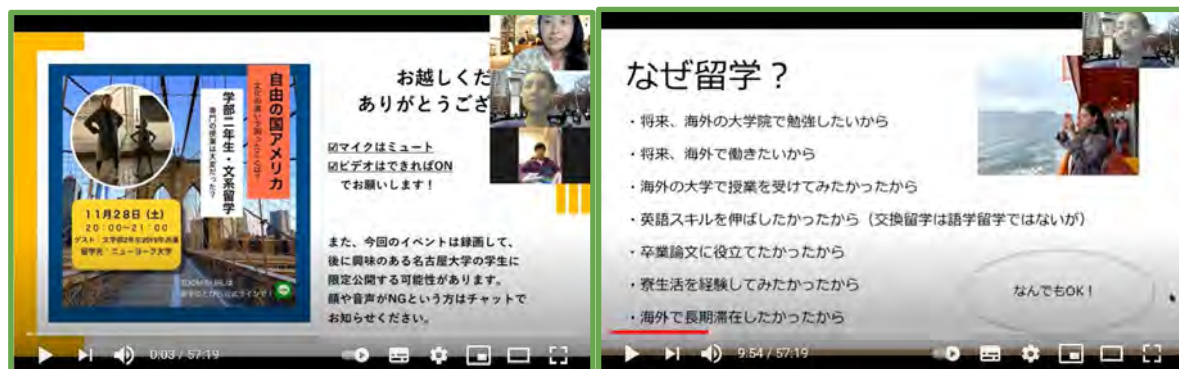
(開催日：2020年8月17日、8月26日、9月8日、9月19日、11月28日、12月20日)

＜効果＞

今年度これまで計46名の学生が参加。留学を迷っている学生から、申し込みを検討している学生、内定済みの学生など参加者の状況は様々であった。

イベント後のアンケートでは、「留学が楽しそうだと感じ、いろんな国に行った方のお話をもっと聞きたいと思いました」「自分でもっと留学に関する情報収集を行おうと思った」「留学を始め、いろんなことに挑戦していくことの大切さを改めて感じた」などの感想があった。

留学を迷っている学生の背中を押すことや、挑戦することの大切さを伝えられた。



Instagramアカウント運用

<目的>

- ✓留学に興味はあるが悩んでいる学生に留学の楽しさを伝え、留学を積極的に考えてもらう
- ✓留学先の国や大学に迷っている学生に、現地でのリアルな大学生活の様子を紹介し、留学先選定のヒントを作る
- ✓留学に内定した学生が、現地での生活をリアルにイメージできるようにする



<内容>

1週間に1、2回、メンバーが留学先の大学のオススメポイントや現地での珍エピソードについて写真と共に紹介している。

<効果>

現在フォロワー数は111人。運用を始めて22件の投稿をしてきたが、各投稿80～120人の方に見て頂いている。実際に投稿を見てくれている名大生からは、「現地での生活が身近に感じられて面白い!!」という意見を頂いている。

※公式ラインでの留学相談は昨年度から継続して行っており、利用者は164人まで増加した。

留学計画ワークショップ

<目的>

- ✓ 交換留学応募を検討している学生に、留学先の決め方のヒントを作る
- ✓ 留学先を決めかねている学生に、SNSや各協定校のホームページを利用した留学先（国・大学）の情報の調べ方を共有する
- ✓ どの大学でどのような分野を学べるかイメージができていない学生に、協定校のシラバスの調べ方・見方を知ってもらう

<内容>

2020年8月6日、2021年2月17日、3月3日に実施。留学先の決め方、留学先でできること、大学の情報収集の仕方を留学経験者がそれぞれ紹介し、20分程度の個別相談の時間を設けた。また、ワークショップ後に参加者が記入できる留学計画ワークショップワークシートを配布した。

<効果>

合計17名の学生が参加。事後アンケートには、「シラバスの調べ方がとても参考になりました!」、「期待以上でした」などポジティブなフィードバックが多く寄せられた。また、「もう少し個別相談ができるじかんがあるとよかったです!」、「IELTS対策講座に付随のWSだと思うので、IELTSの得点が講座and/or独自の対策でどれくらい上がって留学できたという情報があるとよいなと思いました。」などの希望も見られたため、次回のワークショップに反映できればと思う。



留学計画ワークショップ
2021年2月17日・留学のとびら-

留学計画ワークショップワークシート									
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール リスト オプション ヘルプ									
A1 B2									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
留学先候補大学	国/地域	必要語学スコア	主要言語	物価/費用	文化	強い学問分野	学べる分野	治安	
例: フロリダ大学	アメリカ南部	IELTS 6.0	英語/スペイン語	やや高い	ヒスパニック系	航空工学	リベラルアーツ		
例: ミュンヘン工科大学	ドイツ南部	授業履修レベル	ドイツ語	普通		機械	工学部系		
大学									
大学									
大学									
大学									
大学									

～卒業生からのメッセージ～

● 渡邊智基 情報学研究科複数系科学専攻2年（オーストラリア・アデレード大学）

昨年度を中心に活動に関わらせていただいた渡邊です。

まずは皆さん、今年度はコロナの影響で留学を切り上げたり延期になったりと大変な時期であったにも関わらず、留とびメンバーとして活動してくださりありがとうございます。

留とび活動を通して留学希望者に自身の留学プランの立て方や留学先の選び方、事前準備(+実際の留学経験)などを伝えることは自身の経験を整理して言語化することであり、その経験は皆さんが今後キャリアの歩み方を考えていく上で非常に重要になります。

今後も留とびをよろしくお願いします。

● 若杉美穂 文学部言語学専攻4年（イギリス・ウォリック大学）

私が交換留学の準備をしていた時に、たくさんの先輩に支えてもらったことがとても嬉しくて、心強くて、私自身も何か力になれたらという思いで留とびの活動を始めました。それがいつしか留とびが、帰国後の私自身の学生生活も鮮やかに彩ってくれるようになっていまし

た。留とびメンバーと「これやってみよう！」「あんなことできたらいいな」と皆でワイワイ活動できた時間は宝物です。自分たちのやりたいことをスピーディーにどんどん形にしていけるのは留とびのとても良いところだと思います。留学から帰ってきた皆さんも、留学前の皆さんも、ぜひその溢れるエネルギーを留とびにぶつけてみてください！

●増田浩子 文学部言語学専攻4年（シンガポール・南洋理工大学）

留学したい学生のお手伝いがしたい、留学を迷う学生の背中を押したいという想いで、先輩方から留学のとびらを受け継ぎました。私が主に活動していた2019年度は例年通り、留学を目指す多くの学生と関わることができましたが、2020年度は新型コロナウイルスにより、なかなか活動しづらい状況が続いています。それにも関わらず、現メンバーの皆様が精力的に情報発信やイベントを行なっているのを見て、前代表として非常に心強く感じています。これからもイレギュラーな事態は続くと思いますが、今留学を目指す学生たちや、これから名古屋大学に入学してくる学生により多くの選択肢を与えられるよう、活動を続けていって欲しいと願っています。

●野場 彩乃 教育学部人間発達科学科4年（アメリカ・ミネソタ大学）

留学のとびらの活動を通して、私は夢をもつ学生にたくさん出会うことができました。留学経験者やこれから留学したいと考えている学生はいい意味で変わっていて、話すときごく刺激になって自分もいつもパワーをもらっていました。留とびのメンバーとして活動している後輩のみなさんには、そんな学生たちと楽しく自分たちがしたいと思える活動を続けていってもらえればと思います。

来年度へ向けて

来年度は今年度と同様、留学を志す学生の支援を充実させると共に、留学決定後・派遣前の学生支援や留学コミュニティの形成に力をいれていきたい。具体的には、交換留学が決定した学生と名古屋大学に現在留学中のNUPACE生とを繋ぐイベントを6月に実施予定である。また、留学仲間の繋がり続けるべく、オリンピックのライブビューイングや英語を使ったイベントと一緒にいく機会を設けるなど、今年度にもましてさらに精力的に活動していきたい。

異文化交流サークル ACE 2020 年度 活動報告書

文責：神津真一、入澤寛輝、時田聡実

1. 団体紹介

(1) 活動概要

ACE (Action group for Cross-cultural Exchange) は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げ、新入留学生をサポートすることを主な活動とするサークルである。1988 年 6 月に結成され、30 年以上の歴史を持つ。現在は、留学生の日本での新生活をサポートするための受け入れ活動を主軸とし、さらに留学生と日本人学生の交流イベントを定期的に企画・運営している。普段の活動としては、毎週月曜日の夜にインターナショナルレジデンス東山の会議室を借りて、ミーティングを行っている。今年度はコロナのため Zoom でミーティングを行った。ミーティングではイベントについての連絡や話し合いを行い、進化していく団体を目指して、日々活動を続けている。

(2) 組織編成

学部 1 年生から大学院生まで、メンバーは総勢 100 名以上にのぼる。メンバーの大半は名古屋大学生で構成されているが、南山大学、金城学院大学、椙山女学園大学、名城大学等の近隣の大学からもメンバーが集まっており、全体の人数も年々増加傾向にある。団体の中心学年は学部 2 年生であり、毎年 6 月に行う「まじめ合宿」で代替わりを行っている。2020 年 6 月からは「32 期」（現 2 年生）が中心となり運営をしている。32 期の役職の種類、人数、内容は以下の通りである。

役職	人数	内容
代表	1	ACE 全体の活動のとりまとめ、毎週のミーティングの進行。 (代表副代表制の復活)
副代表	2	ACE 全体の活動のとりまとめ、代表の補助。
会計	2	ACE 資金の管理、収支のデータをまとめる。
SNS	3	Facebook、Instagram、Twitter の管理、広報を行う。
メール	2	ACE メール（主に渉外用）、メーリングリスト（ACE 内での情報共有用）の管理。
ホームページ	2	ACE のホームページの更新・管理。

MT係	6	毎週のミーティングの議事録をとり、メーリングリストでの共有。ミーティングの司会進行。スライド作成。
OneDrive	1	歴代の運営の情報が保存・共有しているシステムの管理。
暦	1	ACE メンバーへのイベント情報の発信。
幹事	3	ACE メンバー同士での交流の場を作る。

(3) 受け入れ活動

ACE の活動の中で最も重要とされているのが、この受け入れ活動である。受け入れ活動とは、4 月と 10 月に新たに名古屋大学に入学する留学生の新生活をサポートする様々な活動の総称である。現在行っている具体的な活動には、レジデンス受け入れ（東山・山手・妙見・大幸）、キャンパスツアー、バザー（NUFSA と共催）、ウェルカムパーティー（NUFSA 支援）、遠足、パンフレット作成などがある。特にパンフレット作成は ACE が独自に行なっている活動の 1 つであり、留学生が日本で生活する上で必要となる情報を載せることができるよう年々改訂を重ねている。これらの活動を通し、留学生の支援だけでなく、留学生同士または留学生と日本人学生が交流する場を提供できることから、ACE メンバーの活動実施意欲も高い。

2. 2020 年度 ACE 活動報告

(1) 年間イベント一覧

4 月 受け入れ活動 新歓活動

5 月 新歓活動 5 月企画 ACELINK(5~8月)

6 月 まじめ合宿 海外報告会 (6~8月)

7 月 online dinner together

8 月

9月

10 月 ハロウィンパーティー 秋新歓 online dinner together
ACELINK(10~1月)

11 月 32 期企画 online dinner together

12 月 紅葉企画

1 月 ウィンターパーティー online dinner together

2 月 バレンタイン企画 オンラインキャンパスツアー（動画作成）

3 月 新歓活動 受け入れ活動 追いコン

(2) イベント概要

ACEが最も大切にしている活動は留学生の受け入れ活動であるが、今年はコロナの影響でこれらの活動はできなかった。そのためオンラインで留学生に日本の文化を紹介したりACEの活動の向上のために設けられたりする企画など、1年を通して絶え間なく活動を行っている。本年度の各イベントから一部抜粋して、概要をここにまとめることにする。

○Virtual Quiz Journey Hop Step Japan

コロナ化で初めて行ったオンラインイベントである。オンライン上で各地に旅行に行き、クイズを留学生と楽しむというイベントである。多くの留学生とクイズを楽しむことができた

○オンライン Dinner together

今までは対面で行っていたイベントをオンラインでやった企画である。これは1年で3回行った企画である。オンライン上でご飯を食べながら、おしゃべりをした。この企画では海外にいる留学生とも一緒に食事をして楽しむことができた。多くの留学生が参加して、遠くに離れた留学生と会話することができとても楽しい企画だった

○ハロウィンパーティー

昨年度に引き続き行われた企画である。これは緊急事態宣言が解除され、コロナが収束してきたために、今年初めて行うことができた対面イベントである。一年生も多く参加してくれ大きなイベントになった。チーム対抗のゲームを行ったり、仮装して写真を撮ったりして非常に盛り上がった。

○紅葉企画

これは昨年度に行われたイベントをオンラインでやった企画である。事前に紅葉の動画を撮り、紅葉の映像も楽しみながらクイズも行った。留学生も多く参加してくれて、オンラインイベントとしては多くの留学生が参加してくれたイベントだった。

○ウィンターパーティー

一年生が主体となって行った企画である。今までは絵でレクをしたり、一緒におでんを食べるなどしていたが、コロナの影響でそれが厳しかったため、今回は留学生にお正月のことをもっとしてもらおうためのクイズを行った。しっかり英語字幕付きで日本の文化を紹介することができた。

(3) 今年度の活動目標

今年度の活動目標 本年度の活動目標は「留学生にボランティア精神」、「ACE に愛をもって運営」である。前者は、留学生を第一に考えて ACE の活動を行うという目標を示したものである。本年度は留学生が新型コロナウイルスの世界的蔓延の影響で来ないが、これまでにACEとつながりがあった留学生を主な対象として Online dinner together を多く開催する。後者は、自分たちが ACE の活動をより良いものにするという意識を持ち、主体的 に運営に取り組むという目標を示したものである。今年度の活動主体である 32 期 (2 年生) は、意見を強く主張する人は少ないが、他者の意見を柔軟に取り入れられる人が多い。そのため皆で意見を出し合い、それぞれの意見の良いところを組み合わせ ACE の活動に取り入れてきた。そのため本年度の活動には、メンバー一人一人が ACE をより良くしようと考えた結果が表れているといえる。また、32 期は 留学生との交流する機会が少なかったが、例年にも増して留学生のことをよく考えている学年である。前者と重なる部分ではあるが、留学生に重きを置いた運営をすることができたと考える。

(4) 今年度の新たな取り組み

今年度の新たな取り組みとして、ほとんどすべての活動をオンラインで行ったことがあげられる。毎週月曜日に東山レジデンスで行っていたミーティングは、Zoomで行い、ハロウィンパーティー以外の例年行っていたイベントはオンラインで行った。また、受け入れ活動が行えなかったため、オンラインでのキャンパスツアーの動画を作成した。

・ オンラインでのイベント開催

ACEは例年ほとんど毎月、季節に合ったイベントを開催している。今年は、コロナウイルスの影響で、対面での活動が制限されていたため、オンラインで広報しイベントを開催した。利点は、日本にいない留学生もイベントに参加できたことがあげられる。欠点は、広報が難しい点や、オンラインだと参加率が下がってしまうという点があげられる。

3. 来年度に向けて

来年度に向けて ACE では今年度、online dinner togetherに挙げられるようにいろいろな留学生にACEの存在を知ってもらい、イベントに来てもらえるような工夫をしてきた。ただここ数年、ACE と同じ国際交流を主とするサークルがいくつかできてきている中で、いかに ACE が留学生と関わり、サークル運営をしていくかが試されている。OBOGが残したものを引き継ぐのか、あるいは他団体と連携して全く新しい仕組みを作り出していくのか。いずれにせよ、これからも ACE が留学生にとっても、メンバーにとっても居心地の良い場所であり続けてほしいと願う。

名古屋大学留学生会
Nagoya University International Student Association (NUFSA)
2020

Hai NGUYEN

1. About NUFSA 名古屋大学留学生会について



Nagoya University International Student Association (NUFSA) is a diverse and cultural student led organization founded by Nagoya University in 1985. Primary objective is to bring together all international students enrolled in Nagoya University and visiting scholars. Our mission is to create a sense of community by facilitating intellectual, cultural, and social exchanges among international students, faculty and staff. We also foster understanding of diverse cultures and help to develop a cosmopolitan outlook among foreign students, and between foreign students and Japanese students. Finally, we serve as support to incoming international students in adjusting to their new cultural setting in Nagoya and creating opportunities for networking.

NUFSA is short for Nagoya University International Student Association (名古屋大学留学生会). It originally stood for Nagoya University *Foreign* Student Association. However, in 2015, it was decided that the association would be renamed to Nagoya University *International* Student Association (while keeping its initial abbreviation – NUFSA) to embrace the global and international student base of Nagoya University.

2. Exective Board

- **President: Hai Nguyen (Vietnam)**
- **Vice President: Jerry Wang (China)**
- Treasurer: Hui Hui Gan (Malaysia)
- Secretary: Raissa Medea Alunjani (Indonesia)
- PR Head: Putri Gifta Desyanmi Santosa (Indonesia)
- HR Head: Anny Lai (Wan-Ching Lai) (Taiwan ROC)

3. Membership

NUFSA membership is free of charge and can be granted to any international students (foreign and Japanese) enrolled in Nagoya University, regardless of their nationality, major, schools, degrees, etc. To be able to join the group and participate discussion for existing events or to bring new ideas all is necessary to do is register at nufsa.nagoya@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>
Instagram: https://instagram.com/nufsa.nagoya_university/
Email: nufsa.nagoya@gmail.com

4. Support

NUFSA is receiving support from various organizations. We are financially supported by Nagoya University Foreign Student Support Association and we regularly receive technical or organizational support from Nagoya University International Student Advisor Office. We also collaborate with volunteer groups (ACE, YWCA, Tomodachi-kai) for organizing activities such as bazaars, welcome parties, etc.

5. Weekly Meeting

NUFSA members have meetings every week. This year, the weekly meeting is held every Monday evening from 18:30 to 19:45 on Zoom due to the pandemic. During meetings, members discuss potential activities and plan them out together. The minutes of meetings are written down and uploaded by the secretary every week.

6. Activities

❖ Orientations for Incoming International Students (Online due to COVID-19)

NUFSA participates in orientations for incoming international students held in student residences (International Residence Higashiyama, International Ohmeikan House, International Residence Yamate, Ishida Memorial International Residence Myoken, International Residence Daiko). The purpose is to introduce ourselves to newcomers and give them first necessary information and tips for daily living and university activities.

❖ Tandem (Online due to COVID-19)

Since 2016 we have launched a new project called Tandem, which is an opportunity for those who are willing to master a language (or two) and even get accustomed with cultural nuances by communicating with native speakers. Tandem, basically, means having two or more individuals with skills they can share with one another. Just fill out the questionnaire form providing information about the languages they know and the languages they are wishing to excel at. NUFSA will connect you with the partners they best match with.

❖ Academic Activities (Online due to COVID-19)

Japanese Language & Culture course for international students' family members, sponsored by Nagoya SAKAE Lions Club.



- **Zoom Q&A Session on Student Life and Mental Health with Associate Professor Sakai**

Under this current pandemic, we understand that a lot of students (both Japanese and International students) suffered a lot because of the social-distancing, online classes, and more. NUFSA held this Q&A session with the support of associate professor Sakai to help answer students' questions and concerns related to student life and mental health anonymously through Google form and also during the zoom call.



NUFSA presents

ZOOM Q&A SESSION
on
STUDENT LIFE & MENTAL HEALTH
with
ASSOC. PROF. SAKAI
Psychiatrist, International Student Counselor
June 5th (Fri), 18:45 to 20:00

← ASK & REGISTER →
NOW

We are here to help.

NUFSA
PRESENTS
QUIZ AND MUSIC NIGHT
Game and music night
With live quiz/trivia and instrument performance

FRIDAY, JULY 3 2020
6:30 PM
GIFT CARDS FOR QUIZ WINNERS !!!

EVENT ZOOM ID: 861 3395 0505 OR SCAN

NUFSA, Nagoya University International Student Association

@nufsa.nagoya_university

❖ Quiz and Music Night

Because of the pandemic, NUFSA's Live Music Session cannot be held on campus. Instead, NUFSA holds Quiz and Music Night on zoom, providing awesome musical performance by students. There are also small quizzes about the university and common knowledge. The winners get to win some amazon gift cards.

❖ Halloween Competition

Because of COVID-19, we could only hold a halloween event online, through Instagram. Students sent us pictures of their Halloween make-up and costumes and are featured in both NUFSA's instagram and facebook account. Through voting between NUFSA members, the winners of this competition were chosen and given prizes, such as Amazon gift cards.

Are you ready for the spookiest contest?

It's time to put on make up and win the prize!

Get the most likes to win great prizes!
*three winners will be selected

Submission period:
14th - 25th October

Send your photo to

- ✉ nufsa.nagoya@gmail.com
- 📷 [nufsa.nagoya_university](https://www.instagram.com/nufsa.nagoya_university)
- 📺 NUFSA, Nagoya University International Student Association

Special edition of Presentation Hour : NUFSA

Presentation Hour 2.0
~20 seconds of inspiration~

WHAT is Presentation Hour?

- ★ 20 slides × 20 seconds
- ★ Japanese or English or both
- ★ **FREE** topics, anything from hobbies to research topic
ex. Agrobiodiversity, How to make good coffee, Irish Traditional Music

WHEN will it be held?

- ★ Date: December. 17th (Thurs.)
- Time: 16:30-18:30
- Place: zoom app

★ Free Entrance and Exit
Make yourself comfortable with a cup of coffee or tea, enjoy and relax listening to the presentations

Recruiting Presenters!!

HOW to apply?

- ① Apply via **Application form** or **Email** below ↓
- ② We will review forms and get back to you!

Application Deadline : November. 13th (Fri.)

Application form : <https://forms.gle/vnqfM5LLc2D0e3m25>

Email: presentation.hour@gmail.com
Please include
1.Name 2.Department & Year 3.Language (English or Japanese) 4.Presentation Theme/Title

Contact : presentation.hour@gmail.com

Organized by Presenters' Meet Support Team,
Nagoya University International Students Association (NUISA)
in cooperation with Nagoya University (NU) / International Education Exchange Center (IEEC)

❖ Presentation Hour 2.0

NUFSA collaborates with Advising & Counseling Services, IIEC - ACS and Presentation Hour Student Team for the Presentation Hour 2.0. Two student speakers make presentations every session and the speakers show 20 slides, each for 20 seconds in English. The main language used in English, but questions can be asked in Japanese.

Regular Events but Cancelled due to COVID-19

- **Bazaar (Cancelled due to COVID-19)**

Every year in April and October, NUFSA, in collaboration with ACE, Tomodachi-kai and YWCA, holds a bazaar at Nagoya University International Residence Higashiyama. The bi-annual NUFSA International Students' Bazaar is an absolute goldmine of quality second hand home necessities (tableware, furniture, electrical appliances) at extremely cheap prices.

- **Welcome party (Cancelled due to COVID-19)**

We organize welcome parties, which is a platform for old students to welcome new students and it is also an avenue for interaction, networking and social exchange of ideas, experiences and culture. This is the first foundation towards building strong lasting friendships in most cases. We offer not only delicious food and drinks but also live music with great performances.

- **Live Music Session (Cancelled due to COVID-19)**

NUFSA invites students to perform and chill at Craig's Cafe in the university every 2 months. NUFSA also provides some snacks to the participants and performers. The event is totally free and students can sign up to perform through NUFSA's Facebook and Instagram.